

小学校区：東小沢小

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
30~39 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	小学生／未就学児	<p>私は賛成です。 現在、少人数の小学校に通っていますが、正直メリットがあまりありません。 地域の方との交流や先生方の目が届いている、上級下級生とも交流が密…などメリットもありますが…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数なため、友達が限られる。その友達と気が合わない場合、逃げ場がない。 ・複式学級の良さがわからない。 ・申し訳ないが、先生方のレベルが低いと感じてしまう。(そういう先生方が、集まっているのでは?と感じてしまう) …など、 <p>なぜ、今までこんなに少人数の小学校があるのが不思議なくらいです…</p>		
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生／小学生／未就学児	<p>東小沢学区で、来年度小学校入学を迎えますが、今後統合をするのであれば学区外の小学校へ入学出来るように選択制にしてください。</p> <p>また、スクールバスで通えるようにして頂けると地域の子供達も安全ですし、保護者の送迎の負担も少なくなると思う。どうか、早急にご検討願います。</p>		
60~69 歳	2. 中学生以下の子どもはいない	(未入力)	<p>父の時代から100年、三代通った母校がなくなるのはとても寂しいことです。 再編スケジュールでは2025年までに坂本小と久慈小に統合となっています。</p> <p>要望</p> <p>1.この再編案が示されたことで来年度から東小沢小に入学する子供がいなくなることが懸念されます。統合まで人数は少なくても運動会などそれなりの行事ができるよう、できれば特別な理由がない限りは東小沢小に入学させる親が多いことを期待します。運動会は地域が支援します。</p> <p>2.坂本小、久慈小のいずれも東小沢小より遠くなります。特に神田地区から坂本小へは直線で3km強あり小学生の足では通学距離が長くないでしょうか？小学校が遠いと次世代が生まれ故郷に戻らない条件の一つとなり、さらに少子化、過疎化に拍車がかかります。 安全で親の負担があまり掛からぬような通学手段を考慮していただきたいと思います。みなみ号はデマンドタクシーに代わることがあります。</p> <p>3.4年前に創立100周年を迎え和太鼓を揃え発足した創作太鼓「菜風連」は、今では東小沢小の象徴的な「伝承文化」になりつつあります。10年程度で途絶えるのはもったいないです。何らかの形で継続することを考慮してほしいと思います。</p>		

小学校区：東小沢小

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
60~69 歳	(未入力)	(未入力)	今から 50 年前にも、東小沢小卒の進学先が地区に応じ久慈中と坂本中への分離する意見が出て、保護者や地域の反対が多く、結果として分離せず全員久慈中へと進学となりました。 今回の再編でも、2 校に分離するのではなく、1 校と統合した方がよいと思います。原則として地域の災害時避難場所となる坂本小との統合を希望します。	理想は、施設一体型の小中一貫教育の形態ですが、敷地面積が狭く難しいと思われます。可能な場所は取り入れてほしいと思います。	統合して使用しなくなった学校はその後どうなるのか。
70~79 歳	(未入力)	(未入力)	子供達の通学距離が遠くなります。親の負担が大になり、防犯的に良くないです。遠すぎて目が届きません。小さい学校でも独自の特色を打ち出すべきです。例えば、英語の時間を特別に多くするとか、産業関係の授業の拡大とか、1 つでも 2 つでも突出した項目を設けて特色を出し、中心地の方でも授業を受けてみたいと思う科目を作ったらどうですか？ 統合して大きい学校にするのも良いですが、少ないなりの特色のある学校作りを考えて欲しいです。閉鎖してしまったら再興は難しいと思います。存続する方法も考えて下さい。	一貫教育については賛成です。ここでも距離的な問題が出てきます。	現在の市単位の教育でなく、県単位の教育になりますか。日立市に住んでいても子供の通学には太田の方が便利です。市で分けるのではなく、近く为学校に行けるシステムになりませんか。今後、子供達が減ることも考え、通える範囲があれば、どこの市町村であれ自分達を選べる小・中学校になればよいと思います。東小沢小は子供数が少なくなったため、他の市町村に家を構える方が毎年出ているのも事実です。負の連鎖です。いずれ子育てをする方はいなくなると思います。
60~69 歳	(未入力)	(未入力)	「東小沢小を久慈小と坂本小にそれぞれ統合」について案によれば留町は久慈小、それ以外は坂本小とありますが、次の点など児童や保護者の意見はどうなのでしょう。ア、教育環境の充実している新設の久慈小で学ばせたいイ、兄弟ともに同じ学校であると送迎など便利がよいウ、小規模化が年々進む中で、在校生は卒業まで学んでいくのか柔軟な対応となるのでしょうか。		「地域とともにある学校づくり」について東小沢小の廃校となれば、東小沢の名称は消えてしまいます。(東小沢老人の家はありますが)子供は久慈学区、大人は坂下地区の関係が強まり、住民意識、感情等としても複雑なものがあります。東小沢の名称を残すということからも、東小沢小の廃校跡地の利用活用にご配慮いただければと思います。
40~49 歳	2. 中学生以下の子どもがいる	小学生	少人数の学校＝再編優先という考え方をやめてほしい。「再編の考え方」の学校・家庭・地域が一体となり、生徒一人一人の成長を支える学びを実践しているのがまさに東小沢小学校です。少人数だからこそ生徒一人一人の顔を名前、ケガや体調不良等、先生方が把握し声をかけてくれる。それがどんなに子供たちにとって嬉しく、自信につながっているか。少人数だからこそ全生徒で遊べ、面倒を見、ルールを教えて学ぶ。それをまた新入生に教えていく。大人の言葉でなく、同年代の上級生の言葉だからすなおに聞ける。そんな環境の中で一人一人が責任ある係を低学年からまかされたり、授業で手をあげて発表することがはずかしくなく"あたりまえ"でできる環境が東小沢です。その環境を壊さないでください。	机の上に生徒を立たせ、宿題をしてきた人から、むしろ"見せしめ"の様なことをする先生が存在し、それを黙認している学校が存在していることを把握し、厳しく改善させてから小中一貫教育をしてほしい。それを委員会でご存知ですか？義務教育の大切な 6 年間をダメにしないでほしいです。そんな先生の存在を隠さずうやむやにせず改善してからでないで連携など無理だと思う。先生一人一人も今に合った教育方針にならないと、中身が伴わないものになると思います。	東小沢の生徒たちは、この学校を選んで入学しています。少人数でもそれに勝る環境があるから親たちは入学させています。それを環境外にいる方々の考えで再編対象にしないでください！ 大人数の生徒の中に潜ることなく授業でわからないまま置いてけぼりにされることなく、しっかりと子供一人一人が輝ける学校の東小沢を再編対象にしないでください。100 年続く歴史ある学校を残してくださいお願いします。一年生の息子が無事に 6 年間東小沢の生徒で過ごせることを切に願います。どうかよろしくお願いします。 子ども達のこれからに関わる事です。急いで結果を出そうとせずに、その前にしなくてはならない事をやってください。

小学校区：東小沢小

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
60~69 歳	(未入力)	(未入力)	<p>東小沢地区は、昔から米の産地である。稲作には広大な耕地を必要とする。地域には農家が点在して、米の産地として代々稲作を継承してきた。農地は農地法で守られた。簡単に住宅地には出来ない様になっている。その為、住宅の数が急増して、子どもの数が増えて行くとは思えない。しかし、東小沢小学校はそんな地域に100年以上の歴史を誇る小学校である。市内では特殊な地域にある小学校である。</p> <p>単なる教育の現場を効率的にする観点から統合するのは絶対反対である。</p>		<p>1)小・中学校は義務教育の場である。義務を遂行するのに学校の場所が遠距離になって通学に苦労するようでは問題である。</p> <p>2)仮に統合された場合、学校名は全て変更すべき。</p> <p>3)東小沢小学校を残しての再編を検討すべき。(坂下地区の小学校として)</p>
40~49 歳	2. 中学生以下の子どもがいる	中学生	<p>小規模な学区でしたが教職員の方々、地域の方々に見守られながら恵まれた小学校生活、体験を送る事ができました。近年の東小沢小学校入学者数を聞くたびに学校再編がいよいよきたのかと残念な気持ちでいっぱいです。1学年が1~2名では子どものできる事に制限ができてしまい、この時期にしかできないお友達づくりから学べる事が統合後にできるならば学校再編もいたしかたないと思います。しかし、東小沢小学校でしか体験できなかった行事は、久慈小坂本小へ引き継がないのではないかと不安です。限界集落になる可能性。</p>	<p>小中一貫教育が県内(特に県内方面)で進み始めたばかり、これから子育てを始める方たちにわかりやすく説明してほしい。</p> <p>東小沢学区に居住している子どもたちは、中里地区と同等にスクールバスを配置していただきたい。安心して産み、育てる環境がなければこの地区には若い世代は住んでくれないのでは?例えば、つくば市などでは各方面に向けてのスクールバス配置で親の送迎の負担を減らしている。東小沢小学区は久慈小、坂本小に分けてしまうと、久慈中学校に入学してからまた一からの友達づくり、学びになってしまうのでどちらから一本化した方がよいのでは。(希望する場合は別ですが)</p>	<p>このまま、統廃合で東小沢学区から子どもがいなくなっていく事しか想像できません。若い世代の方々は通学、通勤に便利な市街地、駅、学校周辺に居住し、将来的に東小沢のコミュニティも限界がくるのではないかと危惧しております。また現在、久慈中学校に通学しておりますが、久慈学区、久慈コミュニティに属している学校なので、坂下、東小沢学区コミュニティへの理解。関心度が低く、不安に感じております。</p>
70~79	(未入力)	(未入力)	<p>1. 基本方針でクラス替えをやるメリットが記載されていますが、これは先生の都合で子供たちのこと考えていないのでは。と疑問です。母親目線で見てください。東小沢からで久慈に行ったら、生徒会など頑張っているんですよ。クラス替えはおとなしい子にはNG。6年間少しずつ自分を出してくる。私の娘もそうだった。よってあんまり必要性感じない。一方、自分の経験、東小沢一クラスで今でも仲良し。中学校は3年の時のクラス仲間が今まで続いている。むしろおんなじクラスが良い。なぜこれが課題か不思議です。ホントの声を聞いていないのでは。</p> <p>再編成方法：東小沢留地区、久慈より坂本の方が近いし安全。ただ遠いから1年生通えないと思う。路線バスもないから、ちょっと大変。いっそのこと、どこかの場所に一貫教育南部小中を作ってください。どっちみち通えないのだから、また、現学校の地域に片寄ると、違和感を感じる人がいると思うので。新規名前にする。当然スクールバス使うしかない。空いている時間は地域バスにしてください。</p> <p>従来の物理的位置の特定の学校に片寄ると、遠くなる人が当然出てくる。真ん中につくこと、予算とって本気に考えてください。北茨城ではそうしてる。</p> <p>2. 地域と共に：坂本、久慈小に行って、あるいはほかの学校でも統合して物理的に遠くなる地域とどうやって地域と共にある学校となるんですか?分校にするの?具体的によくわかりません。</p>	<p>これは、前述しましたが、資料見ても具体的によく分かりません。中里みたいならわかります。</p>	<p>東小沢は小学校と一緒に、市民大運動会を続けています。これはほかの学校にはないと思います。市民運動会が続けられたのは、運動会を小学校と一体化したからです。これが地域の交流に役に立っています。統合されたら多分できないです。毎年、最初は高齢化して出れないと、行ってくる地区があるんですが、終わってから、来年どうすると聞くと、やると言うんです。終了後みんなで地区ごとに懇親会やって地域のコミュニケーションに大切なんです。</p>

小学校区：東小沢小

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
			<p>統合すると、これが難しいと思う。きれいごと言うのはやめてください。</p> <p>私は東小沢で、子供たちと菜の花を一緒に育てています。米作りや鮭の放流もあります。</p> <p>3. 働く母親が多い：学童クラブは大切になってきますがまだ不十分。放課後の子供同士の遊び、勉強とは違う大人になるための大切な人間教育。私たちは子供の時これが自然だった。今は与えるしかない、施設は個人に頼らず、市として方針具体策を示してください。</p> <p>地域で三世代交流会やると、最後に子供たち同士楽しく遊んでる。普段遊んでないんだとなんとなく思います。</p>		